

当院においてキセノンCT（脳血流）検査を受けられた方

およびそのご家族の方へ

—「非放射性キセノンとCTを用いた脳血流測定

—Image J を活用し脳血流量測定の精度を高める試み」

—ご協力のお願—

- 1) 研究の背景および目的： 認知症の早期診断、早期発見のために脳血流の測定を行うことが、診断上重要となる場合があります。脳血流を測定するために、できるだけ非侵襲的、定量的な方法で測定することが求められます。本研究の目的は、早期認知症診断に役立つ精度の高い脳血流を得ることです。
- 2) 研究対象者：2021年10月18日～2026年10月18日の間に、さわ病院において脳血流検査（キセノンCT検査）を受けられた方を研究対象とします。
- 3) 研究期間：2021年10月18日～2026年10月18日
- 4) 研究方法：従来のキセノンCTによる測定法においては、患者様の体動などのノイズの影響を受けやすく、特に認知機能低下のある患者様では、正確に脳血流を測定することが困難でした。当院では測定時間をできる限り短縮し、基底核、側脳室の断面を比較して脳血流を評価しています。キセノンCTのCT値の経時的変化量をImageJ（画像処理ソフト）を利用し、ずれ補正や外れ値の除外などの様々な工夫を重ね精度を高めることで精度の高い脳血流を得る試みを継続しています。当院においてキセノンCT検査を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに画像データの分析を行い、精度の高い脳血流を測定する仕組みについて調べます。また同時に特定部位の脳血流量とMMSE、診断結果などの相関についても調べます。共同研究者は、研究全般の評価に関わっています。
- 5) 使用する情報：この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。使用する情報は「年齢、性別、既往歴、診察所見、MMSE、採血検査データや画像の検査データ」です。使用開始予定日：2021年10月18日
- 6) 外部への試料・情報の提供・共同利用の方法：外部への試料・情報の提供は行いませんが、研究のアドバイスを目的で共同研究者と利用する場合があります。その場合も、個人が特定される情報は含みません。
- 7) 研究計画書および個人情報の開示：あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。
この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

社会医療法人北斗会さわ病院 氏名：中西幸治 電話：06-6865-1211 平日：9時00分～16時30分

<研究組織> 研究機関名 社会医療法人北斗会さわ病院 研究責任者 診療部 中西 幸治
共同研究機関 西宮協立脳外科病院 院長 立花 久大